



悲惨な事故を繰り返さないために

～船舶事業者を対象に「安全統括管理者・運航管理者研修会」と
「公共交通事故被害者等支援フォーラム」を開催しました～

海上安全環境部では、毎年、管内の旅客船事業者及び内航海運事業者を対象に安全最優先の原則の徹底と安全運航に必要な専門的知識の習得のための研修会を開催しています。

今年度は交通政策部の主催する「公共交通事故被害者等支援フォーラム」とコラボし、更なる安全意識の啓発を図りました。

当日は厳しい冷え込みの中、109事業者148名の参加がありました。

第1部 公共交通事故被害者等支援フォーラム

第1部の「公共交通事故被害者等支援フォーラム」では、初めに消費者行政・情報課の花野課長より国土交通省が行う被害者支援業務についての概要を紹介しました。その後、1985年に起きた日航ジャンボ機墜落事故で当時9才の息子さんを亡くされた美谷島 邦子さんから、当事者が望む被害者支援のあり方についてご講演をいただきました。



この事故は、乗員乗客524名を乗せたジャンボ機が飛行中に機体の破損により操縦不能となり、群馬県にある御巢鷹山の山中に墜落し、520名が亡くなるという単独機では史上最悪の事故として、当時日本中に大きな衝撃を与えるものでした。

美谷島さんは、事故後に被害者がどのような状況に立たされ、何を求めているかということを実体験からお話しされ、事故防止はもちろんのこと、万が一事故が起こってしまった場合にも被害者を孤立させないよう、平時より「被害者支援計画」を策定する等被害者支援の仕組みを整えておくことが大切であると訴えておられました。

集まったテレビ・新聞の取材に対し、美谷島さんは「船舶関係の事業者さんは常に命と向き合ってお仕事をされている。今日の話が、どこかで自分の命や乗客の命を守ることにつながってくれば」とお話されていました。参加者のアンケートには、「安全について今まで以上に気を引き締めて業務にあたりたい」「安全管理に対する重要性・被害者支援計画の必要性を感じた」等多くのコメントがあり、安全について今一度見つめ直して頂く良い機会となったのではないかと思います。

第2部 安全統括管理者・運航管理者研修会

第2部の「安全統括管理者・運航管理者研修会」では、本省海事局安全政策課危機管理室の中村氏を講師に招いて、「船舶の危機管理対応について ～津波・テロ対策～」をテーマにご講演をいただきました。

津波も、テロも、正直なところ、事業者にとって関心が薄いテーマではないかと思われそうですが、このような危機の発生リスクが以前にも増して高まっており、決して他人事ではなくなってきました。日頃から対策を立てることの重要性を事業者に改めて認識いただくという点で非常に有意義な講演になったものと思われそうです。



今回初めてのコラボ開催となりましたが、安全第一の意識を持っていただくことを狙い、被害者支援・危機管理の両面よりアプローチできたことで、非常に内容のある研修となったように感じています。

中国運輸局では、今後も安心・安全な交通を目指して啓発活動等に取り組んでいきます。